

平成 22 年度第4回常任理事会議事録

平成 23 年 1 月 19 日(水)19:00～22:10 県士会事務所

出席者: 常任理事 5 名 上遠野純子, 本地光弘, 畑中一枝, 大貫操, 道又顕. 会議運営班 1 名, 伊藤.

【審議事項】

1) 選挙公示日程の件

畑中事務局長より, 平成 23 年度の総会日程が 5 月 22 日であることを踏まえた選挙公示日, 立候補締め切り日, 理事会開催日の日程案が提出された.

2) 総会に向けての日程

各部署へ予算書も含めた総会資料作成依頼を行う. 基本活動は, 2 月中に終了することから資料提出の締め切りを 2 月末とすること. 3 月の士会員向け定期発送は 3/8 で外注予定であることから, 庶務部発送班と原稿入稿の締め切り日について確認を行う予定であることが畑中事務局長より報告された.

3) H 2 3 年度収入予測

畑中事務局長より, 有効会員数を新入会員を見込んだ 730 名として納入率 90% で試算した H 2 3 年度収入予測が報告された. 本年度と比較して極端な減収にはならないが, 収入増を目指すために研修会や会費納入率向上を目指す取り組みの必要性が確認された.

収入増を見込む項目のひとつに, 研修会の企画・運営が挙げられるが, 各部局の連携による実施形態や, 参加費の価格設定など研修の位置づけや運営のあり方について審議された.

来年度予算計上にあたり, 教育部から研修会参加費の価格値下げをすべきかどうか検討されている報告がなされた. 審議の結果, 当面は参加費についても現行のまま運営し, 作業療法の質を担保するためにも新人に参加しやすいものとするのかといった目的を含め, 講師謝金の規定についても次回理事会で再度審議することとなった.

4) 北海道・東北地区作業療法士会 リーダー養成研修会について

上遠野会長から, 3 月 5 6 日に開催される北海道・東北地区作業療法士会 リーダー養成研修会実施日程の詳細が報告された. 費用は一部県士会が負担することになるため, 参加者は 2 月の理事会までに, 会長推薦で選出することとなった.

5) 認知症の家族教室開催について

大貫事業局長より, 2 月 19 日に県民, 特に認知症者の家族を対象とした研修会の進捗状況が報告された.

6) その他

宮城県精神保健福祉士協会五十周年記念式典・祝賀会参加について

2 月 12 日土曜, 15:00～仙台国際ホテルで開催される宮城県精神保健福祉士協会五十周年記念式典・祝賀会は, 上遠野会長の都合がつかず, 祝電と畑中副会長が出席することとなった.

【各部局より】事務所費用とも関わる

会長

北税務署への法定調書届出が終了し, 受領されたことが報告された.

次年度運営方針作成に向けて, 次回理事会で提案される案が報告された.

公益事業でもあり士会の財政に関わる作業療法サロン開催のために場所を提供してもよいという申し出が会員よりあるが, 現在の士会予算の検討事項である事務局運営にもからめて検討していくこととし, その上で, 申し出者と協議していくこととなった. 士会としても収益の増と公共性のある活動をどのように推進していくかの確認が必要であり, 次回理事会で場所を提供したいと申し出ていただいた方と会長のやり取りを報告した上で審議していくこととなった.

今後の事務所のあり方としては, サロン開催等を含めた利用とするのか, 事務機能と備品管理の場とし賃料の低い場所へ縮小移転するのか等, 会員にとっても有効利用できる活用のしかたを検討していく方針となった.

事業部

大貫部長より、委託事業のテクノエイド研修が 1 月 30 日と 2 月 20 日の 2 回に渡って実施されることが報告された。理学療法士会、作業療法士会で各回の運営を分担して実施する。参加者は昨年継続者が主対象となる。次年度へむけ、本年度の実績を HP 上で報告し、継続した参加者にも協力を依頼し参加者の拡大を検討したい。

県から士会員の派遣依頼を受けたデイサービス派遣支援事業については 1 月 28 日（金）に、派遣 OT・PT と士会担当者、リハ支援センター担当者とともに報告書作成の最終話し合いを行う予定である。また、2 月 3 日（金）には、大崎市民病院にて、同様の話し合いを行う予定である。事業の詳細については県リハビリテーション支援センターの三浦氏が県学会で発表予定である。

2 月 6 日に開催予定の発達領域の研修会の参加者が少ない状況である。学生を含めて、最終の告知を行い参加者を動員していきたい。

事務局

H23 年度償却資産について申告書提出の義務なしという通知を得た。今後発送物、時期について報告された。

学術局

3 月の定期発送にあわせて学術誌を発行したい。助成金の公募についてはアナウンス広告を発送した。応募者の選考については 3 月の理事会で報告したい。

広報部

士会啓蒙のパンフレットを発送した。3 月にはニュース発行予定である。HP のリニューアル時期であるが、HP と紙面のニュースの住み分けについても検討の上で契約先についても検討していきたい。

常・特設委員会

< 特設委員会：訪問リハステーション研修会関連 >

3 月 5 日、6 日に研修会が開催される。3 士会共催となる。理学療法士会は運営を手伝った場合の参加費支払いが免除される規定がある。今回は共催となるので運営スタッフ間に格差がでないように理学療法士会の規定に倣いたい（但し、特設委員会の委員とする）。しかし、生涯教育制度の基礎ポイントを取得したい場合には参加費を支払っての参加とする。

< 県学会実行委員会 >

県学会の案内は次回の定期発送で行う。タイトルと発表者の集約は担当者が実施中である。

< 第 22 回東北作業療学会実行委員会 > 会期：H23.10.15 -16（土日） 会場：イズミティ 2 1

HP 開設済み：<http://www.toptour.co.jp/conv/3211/tohokuot22/>

次回理事会開催予定 平成 23 年 2 月 16 日 19:00～ 県士会事務所